

各委員からの事前意見の概要とその対応案について

1. 全国森林計画(素案)の計画量等に関する意見等

該当箇所	委員からの意見等	対応(案)又は回答
資料1-1 P4 計画量	計画量(15年間の総量)の造林面積からして、どれぐらいの再造林割合を想定しているのか。	造林面積(人工造林及び天然更新の合計)に占める人工造林面積の割合は約6割となっている。残り4割の天然更新は主に択伐後に実施することを想定している。
資料1-1 P4 計画量	人工造林面積の実績と計画量との乖離が目立つと感じている。現在行っている対策について発信するとともに、対策の結果を受けて、より良い対策を検討する姿勢での対応をお願いする。 (苗木や人手不足、実行体制などの問題等)	伐採後の再造林を推進することは、森林の公益的機能の発揮と、人工林資源の持続的な利用を図る上で重要である。 このため、伐採造林届出などの森林計画制度の運用により適切な再造林を促すとともに森林整備事業による再造林経費の補助をしているところ。さらには、必要な予算の確保に努めるとともに造林作業そのものを低コスト化できるよう、伐採造林の一貫作業の普及や低密度植栽への支援強化、エリートツリー等の成長の良い苗木の生産等にも積極的に取り組んでいる。これらの取組により再造林の推進を図っていききたい。
資料1-1 P4 計画量	資源を有効に持続的に使ってもらいたいと思う。伐採量が増えるので、当然、人工造林も増えることは理解した。再造林の実績が低いところではあるので、保全と育成の観点からしっかりと取り組んでもらいたい。	
資料1-1 P4 計画量	国として育成複層林を増やしていくというのは環境の面からしても大変良いことだとは思いますが、育成複層林への誘導の基準が分かりやすければ良いと思う。	森林・林業基本計画では、森林誘導の基本的な考え方として、「自然的・社会的条件を勘案しつつ、現況が育成単層林のうち、林業に適した場所に位置する森林はこれを維持する一方で、それ以外は育成複層林化を図る」としており、これに即し全国森林計画の第5表では、公益的機能の維持増進を図るための森林について、山地災害防止機能や快適環境形成機能等の機能に応じて、複層林施業を推進する森林の要件(地形、地質、土壌、周辺環境等)を示しているところである。

2. 全国森林計画(素案)の本文に関する意見等

該当箇所	委員からの意見等	対応(案)又は回答
資料1-1 P5	<p>「小規模林地開発」に関する記述と「面積規模の引き下げ」に関する記述を並べた方が広く国民の理解を得やすいと考えるため以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>(原案) 「太陽光発電設備を設置する場合には、小規模な林地開発でも土砂流出の発生割合が高いこと、太陽光パネルによる地表面の被覆により雨水の浸透能や景観へ及ぼす影響が大きいこと等の特殊性を踏まえ、適切な防災施設の設置や森林の適正な配置、許可が必要とされる面積規模の引下げなど改正された開発行為の許可基準の適正な運用を行うとともに、…」</p> <p>↓</p> <p>(修正案) 「太陽光発電設備を設置する場合には、小規模な林地開発でも土砂流出の発生割合が高いこと、太陽光パネルによる地表面の被覆により雨水の浸透能や景観へ及ぼす影響が大きいこと等の特殊性を踏まえ、許可が必要とされる面積規模の引下げや適切な防災施設の設置、森林の適正な配置など、改正された開発行為の許可基準の適正な運用を行うとともに、…」</p>	<p>(原案を修正) ご指摘を踏まえ、ご意見のとおり修正することとしたい。</p>
資料1-1 P9	<p>「女性労働者」、「外国人材」の呼び分けについて事情があるのか。もし差し障りなければ、語を統一して「女性人材」および「外国人材」とすることはどうか。</p>	<p>(原案を修正) 「女性労働者等の活躍・定着」については、日本人を対象に林業分野での活躍・定着を進めるものである。しかし、「女性労働者」という言葉はこれまで使われた例が少なく、公的な文書では「女性活躍」といった用語が一般的である。このため、「女性等の活躍・定着」と記載を変更することとしたい(「等」は高齢者やLGBTQの方々を想定している)。 なお、外国人については、我が国の林業現場での人手不足解消に資する労働者との側面もあるものの、我が国での実習等を通じて技能等を開発途上地域へ移転する技能実習制度による「人材育成」が主目的としていることから、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策等に合わせて「外国人材」としている。</p>
資料1-1 P9	<p>林業労働力の確保の促進は、全ての計画実施に向けての根本であると思う。外国人の適正な受入れ等大きな方向転換とも感じるが、重要な施策と思えるので計画実行を期待したい。</p>	
資料1-1 P9	<p>今後の林業は若い方たちが入っていかないと成り立っていかないと考えている。海外の方が、日本の林業で働く上でハードルが高いといったものが無く、国としても徐々に増やしていくという方針であることは明るい話題であり、かつ重要なポイントだと思っている。</p>	<p>ご意見を踏まえ、林業労働力の確保の促進に取り組んでまいりたい。</p>

該当箇所	委員からの意見等	対応(案)又は回答
資料1-1 P10	<p>航空レーザー測量等による取得された情報は、伐採区域の設定や路網の整備など森林整備に限らず、治山事業においても活用されているため追記してはどうか。</p> <p>(原案) 「航空レーザー測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網の整備の効率化を推進する。」</p> <p>↓</p> <p>(修正案) 「航空レーザー測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網の整備や治山事業の効率化を推進する。」</p>	<p>(原案を修正) ご指摘を踏まえ、以下のとおり修文することとしたい。</p> <p>(原案) 「航空レーザー測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網の整備の効率化を推進する。」</p> <p>↓</p> <p>(修正案) 「航空レーザー測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網の整備の効率化、崩壊リスクが高い箇所における効果的な治山施設の配置等を推進する。」</p>
資料1-1 P10	<p>航空レーザー測量等の情報は、時系列での比較が可能であることから、その整備に関する文言を追記してはどうか。</p> <p>(原案) 「あわせて、航空レーザー測量等により整備した森林資源情報の公開を促進し、面的な集約化を加速する。」</p> <p>↓</p> <p>(修正案) 「あわせて、航空レーザー測量等により整備した森林資源情報の公開を促進し、面的な集約化及び時系列データの整備を加速する。」</p>	<p>(原案のまま) 令和3年度末時点での民有林における航空レーザー計測の実施状況は約半分であり、まずは全国の計測をしっかりと進めることが重要であることから、原案のままとさせていただきます。委員ご指摘のとおり、例えば、災害の発生前と発生後で航空レーザー測量のデータを比較することは治山対策を行う上で重要であることから、前掲の修正案で対応することとしたい。</p>
資料1-1 P10	<p>「シカによる森林被害も含めた森林の状況を的確に把握するための…」とあるが、シカ以外による被害もあるのではないかと。</p>	<p>(原案を修正) ご指摘を踏まえ、以下のとおり修文することとしたい。</p> <p>(原案) 「シカによる森林被害も含めた森林の状況を的確に把握するための…」</p> <p>↓</p> <p>(修正案) 「シカ等による森林被害も含めた森林の状況を的確に把握するための…」</p>

3. 全般及びその他に関する意見等

該当箇所	委員からの意見等	対応(案)又は回答
	<p>全国森林計画の計画量達成や花粉症発生源対策においては、国産材の需要拡大が重要になると考える。この点に関し林野庁のリーダーシップによる着実な施策実行を期待する。</p>	<p>森林・林業基本計画においては、令和12年の木材供給量の目標を4,200万m³としているところであり、この目標の達成に向けた全国森林計画の計画量となっているところ。国産材の需要拡大を含め、この目標を達成できるよう、各種施策の実施に取り組んでまいりたい。</p>

※ その他、法令上の文言整理等による修正がある。